

天野小学校 子ども文化財解説会を実施

～児童が地域の歴史を学んで発表～

1. 概要

6月25日（木）に市内にある天野山金剛寺で地元の天野小学校児童による文化財の解説が行われる

2. 事業について

本事業は、地元天野小学校児童が授業のなかで郷土の歴史・文化を学び、学んだ知識の実践を行うために、平成23年度から毎年行っている。

事業にともなって地元の天野小学校児童は、事前学習を行い、毎年、寸劇、紙芝居など、子供ならではのアイデアで工夫を凝らし、来場者を楽しませている。



昨年の子ども文化財解説の様子（高向神社）

3. 子ども文化財解説の日時と場所

日時：平成27年6月25日（木）午後2時～

会場：天野山金剛寺（河内長野市天野町）

※天野山金剛寺について

天野山金剛寺は、奈良時代に聖武天皇の勅願によって行基が草創し、平安時代の末に阿観が再興したとされる寺院である。全盛期には、約80坊の子院を従える大規模一山寺院となり、境内では天野酒の醸造などの手工業も行われていた。

現在の金剛寺は、境内が国指定史跡となっており、今でも多くの堂が残る中心伽藍を現役の子院や子院遺構が取り巻いている。また、国宝3点、重要文化財33点をはじめとする多くの文化財が保有されている。

※ 子院：本寺の境内にあり、本寺に付属する小寺院。

※ 一山寺院：中心伽藍に多くの子院が付属する中世地方寺院の形態

問い合わせ 河内長野市教育委員会ふるさと交流課（☎0721-53-1111）